

MP3 プレイヤー付きマルチバンドラジオ

ユーザーマニュアル

優秀な DSP ラジオ技術の新しい進歩
アメリカからの無線電技術



D-36

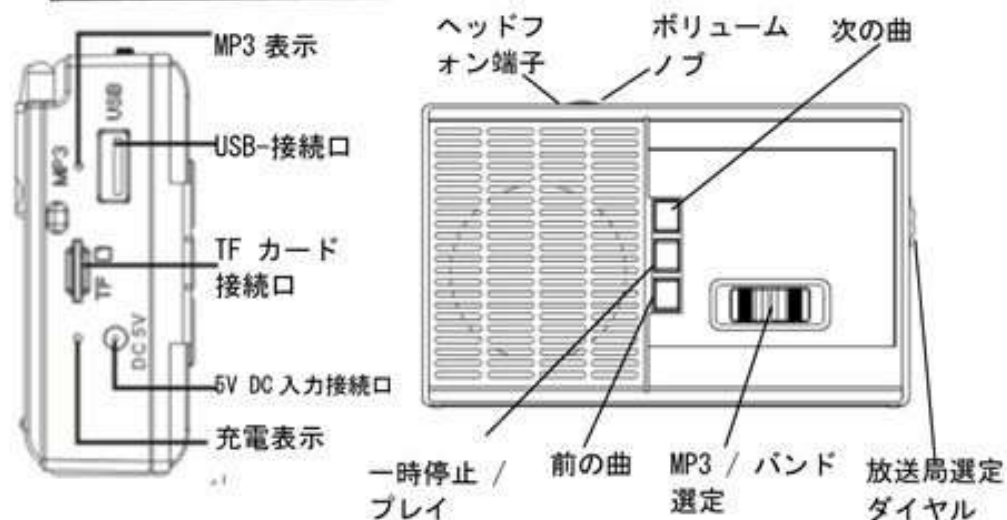
キャンパス放送をカーバリング

FM 76-108

仕様:

- MP3 音楽プレイヤー付き FM / AM / SW 3 バンドラジオ
- 360 度回転可能な受信アンテナ
- 内蔵 Hi-Fi スピーカー
- 内蔵充電式リチウム電池
- USB / TF カード接続口付き
- 5V DC 入力接続口
- 5V DC 入力接続口による内蔵リチウム電池充電が可能
- AA 電池 2 本で電源となる

各部のなまえ



ラジオ機能を使用

- ボリュームノブを CW 方向に回すと電源を入れます。そして、“MP3 / band selection”ボタンで (FM) / (MW) / (SW) のいずれを選んで電源を入れます。
- ラジオモードになっている場合、まず、“MP3 / band selection”スイッチを押し、好きなバンドを選び、次は、ボリュームノブで音量を調整します。最後、チューニングノブで好きな放送局をチューニングします。
- FM / FM ラジオ放送局を聴く場合、受信をよりよくするために、伸縮アンテナを引き出して調整してみてください。
- MW ラジオ放送局を聴く場合、受信をよりよくするために、ラジオ本体を回しながら調整してみてください。

MP3 再生機能を使用

- “MP3 / band selection”スイッチを“MP3”の位置まで押し、MP3 モードに入ります（同時に、MP3 表示が点灯します）。そして、オーディオが入った USB フラッシュドライブ、或いは、TF カードを接続したら、MP3 再生機能が使えるようになります。

- MP3 モードで “▶||” ボタンを速く押すことで再生機能が止められます。再度1回速く押すと、再生機能がまた働きます。
- “◀◀” ボタンを押すことで現在放送している曲の前の曲を選べます。“▶▶” ボタンを押すことで次の曲を選べます。

電源

DC: 外部DC電圧をご使用の場合、極性にご注意ください。電源コネクタ端子の真ん中に極性表示があります。

ご注意: ラジオにダメージを与えないために、DC電流は5Vを超えないでください。

電池: 電池入れの位置表示及び “-” 表示に合わせて、UM3AA電池2本を正しく入れます。

ご注意: 間違った方法で電池を充電させないでください。ラジオにダメージを与える恐れがあります。

充電式電池: 5Vの外部電源をラジオに接続すると、内蔵の充電可能リチウム電池は充電開始します。充電表示信号灯が充電完了まで点滅します。充電時間を短縮するために、充電中にラジオの電源を切ってください。完全充電は一般的には4-6時間がかかります。安全を考えたら、充電時間は6時間以上にしなでください。

仕様:	
1. 周波数帯	
FM	76-108MHz
MW	530, 1600 KHz
SW	6, 0-18, 0 MHz
2. 出力パワー	300, 500mW
3. 直接5V DC端子に接続する	

4. DC: 3V (AA電池 2本)
5. 標準の3.5mm イヤホン端子
6. USB / TFカードの再生をサポート
製品執行標準 Q / LY1. 2007

付属品: USB接続口付きDC充電器; ユーザーマニュアル; 保証書

ラジオの使用

- 電源選定: このラジオには、三種類の電源が使えます、電池、外部のDC電源、或いは、この2種類の組み合わせです。

ラジオの状態変化、例えば、静かから音声が出るようになるとか、感度が落ちるとか、雑音が増えるとかは、電池が切れたという印になるかもしれません。こういう場合、漏洩によるダメージを防ぐために、速やかに電池を交換してください。

- アンテナを使用: ラジオの受信方向は内部の磁性アンテナによって決められます。一番いい感度を得るために、磁性アンテナのロッドをラジオ放送局の方向に調整してください。SW/FMを受信する時、ロッドアンテナを引き出してください。受信状況が悪い場合、避雷針付き外部アンテナを使って受信をよくさせることはできます。ライトニングによる襲いを避けるために、激しい雷雨の時は、ラジオを使わないでください。
- 音量を調節: トランジスタラジオは、電池モードの時、音量を大きくすればするほど、電池がはやく消費されますので、電池寿命を伸ばすために、直接音量を大きく過ぎるぐらい調整することは避けてください。最大音量の70% -80%ぐらいが一番いいです。
- 適切な外部ヘッドフォンやスピーカーを選んでください。外部ヘッドセット/スピーカーを使う時、音に影響しない、アンプにダメージを与えないために、元々の内部スピーカーよりインピーダンスが小さいものではなく、インピーダンスが同等、或いはすこし大きいものを選んでください。

ラジオのメンテナンス

1. 湿気によるダメージを防ぐために、ラジオを乾燥で風通しのいい場所に置いてください。プラスチック本体の変形を防ぐために、ストーブ、ラジエーターなどの近くに置かないように注意が必要です。もしも、ラジオが濡れたら、ショートによるダメージを防ぐために、電源を入れる前に、ラジオを徹底的に乾燥させてください。
2. 防塵:ほこりが本体の中に入ると、ノイズを発生させるし、感度にも影響を与えます。ラジオを使わない時、布で覆い、或いは、ラジオのレザーケースに入れてください。本体内部にほこりがたくさん積み重ねた場合、電源を切って、裏側のカバーを外して、柔らかいブラシでほこりを清掃してください。金属部品の腐食及びラジオのショートを防ぐために、ぬれた布で拭かないでください。ラジオ本体の表面にほこりが付いてる場合、清潔で柔らかい布で拭いてください。[ガソリン、溶剤、化学研磨剤を使わないでください。]
3. 電池を入替える時、正しい位置及び一極性をご注意ください。外部電源を使う時、正しい電圧及び電流要求にご注意ください。古い電池が入れ替えられるべきです。新品や中古品電池を混用したら、新品電池の電量がすごいスピードで消費されるし、音声品質にも悪い影響がありますので、電池の混用を避けてください。

トラブル解決

- Q:MP3音楽、或いはラジオが放送されている時、音声明らかに弱いと認められています。MP3プレイヤーが繰り返して電源を入れたり切れたり、或いは、ラジオの音声キャンセルされます。
- A:電池残量不足が原因です。通常のD電池が使い切ったら、すぐに新しい電池を入れ替えてください。
- Q:ラジオが室内で使われる時、大きいノイズしか聞こえない、受信がよくない、原因はなんでしょう？
- 回答:一般的には、原因は、2つあります。
1. 一般的には、室内にいくつかの電気装置が働いています。例えば、それぞれ違う周波数を放出するTV、蛍光灯、調光器、パソコン、携帯電話などは、MWやSWIに干渉を与える装置です。単一、或いはいくつかの電気装置を止めてみて、干渉源を確認します。雑音源から離れたら、受信がよくなるはずです。
 2. セメント部屋の中でラジオを使う時、一部の電波が放射シールドによってシールドされるから、受信電波が大幅に弱くなりますので、室外でラジオを使う、或いは、外部アンテナを窓の外に付けることで、受信効果をよくさせられます。